

2022年7月1日

Idein 株式会社

エッジ AI の Idein、JR 東日本駅構内の店舗にて AI カメラを活用したオンライン接客を支援 リアル店舗のデータ取得による OMO でのマーケティング活用に期待

Idein 株式会社（読み：イデイン、本社：東京都千代田区、代表取締役：中村晃一）は、東日本旅客鉄道株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：深澤 祐二、以下「JR 東日本」）が開業する「Eki Tabi MARKET(以下：えきたびマーケット)」にて、JRE MALL のオンライン接客型店舗「JRE MALL Meet」のサービス開始にあたり、Actcast の AI カメラを活用した実証実験を 6 月 30 日より開始したことをお知らせします。



■実証実験概要

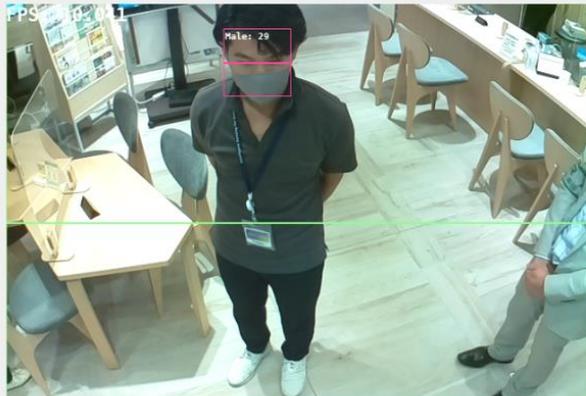
Idein の提供する Actcast の AI カメラと、シスコシステムズ合同会社（以下、シスコ）の提供する Web 会議システム「Webex」を組み合わせることで、オフラインとオンラインが融合した新たな購買体験を提供します。具体的には、AI カメラを使って JRE MALL Meet への来店人数の把握と顧客の属性分析を行うほか、JRE MALL Meet に設置されたサインエージや商品の視認率の計測をおこないます。また、今回新たな取り組みとして、ビジネスチャットツールである「Slack」と連携しています。店舗に来店があるとオンライン接客を担当するスタッフへ Slack で通知が飛ぶようになっており、スムーズなオンライン接客を実現します。

オフラインからオンラインの購買行動がシームレスに繋がることにより、Web マーケティングでは当たり前に行われているファネル計測がリアル店舗においても可能になります。OMO（Online Merges with Offline: リアル店舗とオンラインショップの融合）による新たなマーケティング施策とその効果測定を繰り返すことができ、より良い顧客体験の提供が可能になります。

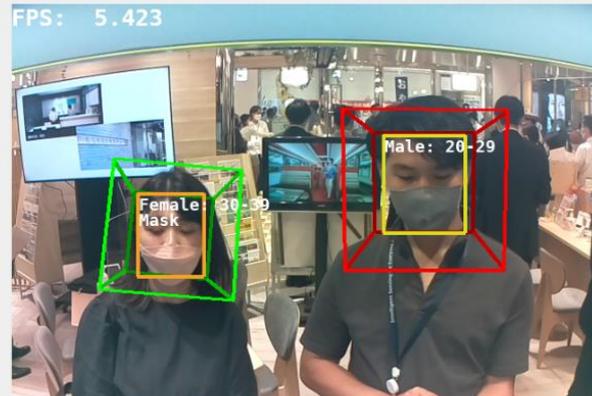
なお、取得した情報は AI カメラ内で処理され解析結果はテキストデータのみとなります。エッジ AI プラットフォーム「Actcast」を利用すると、そのような顧客のプライバシーに配慮した情報の活用が可能となります。

- ・実証期間：2022年6月30日（木）～9月30日（金）
- ・場所：えきたびマーケット（大宮駅構内 改札外）
- ・AIカメラ設置台数：4台
- ・取得データ：通過人数（Slack連携による通知機能）、サインージ/商品の視認率計測、顧客属性（性別・年代）
- ・実施目的：JRE MALL/JRE MALL Meetの利用率の向上、店舗内商品購入率の向上

ActcastのAIカメラを活用した様子



Slack連携による通知機能
（緑の線を越えるとSlackに通知が飛びます）



来店客の属性検知
（マスクを着用していても検知できます）

■「えきたびマーケット」および「JRE MALL Meet」について

「えきたびマーケット」は、JR 東日本グループが推進する「Beyond Stations 構想」の一環で、JR 大宮駅構内に、地域・地方とつながる場として、4月に先行開業している「駅たびコンシェルジュ大宮」に加えて、「イベントスペース」「シーズンショップ『コレもう食べた?』」「STATION BOOTH」などを開業し、毎日の暮らしを便利にするサポート機能と、各地の魅力を楽しんでいただく情報発信機能を備えた新たな場として6月30日に全面開業するものです。「JRE MALL Meet」は、JR 東日本が運営するECサイト「JRE MALL」で販売している商品の中から旅や地域産品をテーマにした商品を定期的に入れ替えながら陳列して販売します。来店客は実際に商品を手に取りながら、気になる商品があれば画面越しにオンライン接客を受けながら「JRE MALL」で購入できる仕組みになっています。



■「Actcast」について

「Actcast」は、画像や音声等の解析技術を用いて実世界のデータを収集・活用できるようにする国内シェア No.1 のエッジ AI プラットフォームです。以下のような特長を評価いただき、2022 年 5 月末時点で 140 社を超える企業にパートナーとして参画いただいております。（Actcast サービスサイト URL: <https://www.idein.jp/ja/actcast>）

「Actcast」の特長

- 高度な AI 解析をクレジットカードサイズの小さく安価なデバイスでできるため、デバイスのコストを劇的に削減できる（通常は数十万円のデバイスを使用するような AI 解析を数千円のデバイスで実現可能）
- 当社独自の高速化技術により AI モデルを軽量化することなく最先端の AI 解析ができる
- カメラ、マイク、温度計等を搭載したセンシングデバイスを使用して、多様な実世界の情報を収集・活用できる
- リモートで複数デバイスの管理・運用ができる
- エッジ AI は必要最低限の情報だけをクラウドへ送るため、プライバシーに配慮しながら利用できる

■シスコシステムズ合同会社について

シスコシステムズ合同会社は、米国シスコ（NASDAQ:CSCO）の日本法人です。シスコはインターネットを支えるテクノロジーにおいて世界をリードしています。グローバルにインクルーシブな未来の実現に向けて、シスコはお客様のアプリケーションを再構築し、セキュリティを確保し、インフラストラクチャを変革し、チーム力を高めることで、新たな可能性を生み出します。



【設立】 1992 年 5 月 22 日

【代表者】 代表執行役員社長 中川 いち朗

【所在地】 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

【資本金】 450 百万円

【事業内容】 ネットワークシステム、ソリューションの販売ならびにこれらに関するサービスの提供
コーポレートサイト URL: <http://www.cisco.com/jp>

■Idein 株式会社について

安価な汎用デバイス上での深層学習推論の高速化を実現した、世界にも類を見ない高い技術力を有するスタートアップです。当該技術を用いたエッジ AI による現場データ収集プラットフォーム「Actcast」を開発し、実用的な AI/IoT システムを開発・導入・活用する開発者及び事業会社へのサービス提供を行っております。今後もパートナー企業と共に、AI/IoT システムの普及に貢献してまいります。「実世界のあらゆる情報をソフトウェアで扱えるようにする」をミッションに掲げ、日本国内では経済産業省 J-Startup 選定をはじめ、日本経済新聞社 NEXT ユニコーン企業にも選ばれています。英 Arm 社の AI Partner や、米 NVIDIA 社の Inception Program Partner になるなど、海外でも高く評価いただいております。



【設立】 2015年4月7日

【代表者】 代表取締役 中村 晃一

【所在地】 東京都千代田区神田神保町 1-4-13

【資本金】 2,867 百万円（資本剰余金含む/2021年9月時点）

【事業内容】 Actcast（エッジ AI プラットフォーム）事業、受託開発事業（次世代自動車開発での協業等）

コーポレートサイト URL: <https://www.idein.jp>

「国内シェア No.1」について

デロイト トーマツ ミック経済研究所『エッジ AI コンピューティング市場の実態と将来展望 2021 年度版』「エッジ AI プラットフォームのベンダシェア（台数）」の調査結果による